

僕たち、私たちのアイデアどうですか

1 班のアイデア

白鷹山×マラソン×そばを組み合わせて

白鷹山マラソン

(イベント)

- ・白鷹山のふもとから頂上まで走る
- ・開催する季節は春
- ・参加料は1,000円
- ・頂上にゴールするとそばが食べられる
- ・300m ずつ給水をする
- ・宣伝方法はポスター
- ・参加者は誰でも良い

2 班のアイデア

パレス松風×つぶて石×桜×そばを組み合わせて

つぶて石・桜めぐり！ 白鷹を満きつしよう！

(イベント)

バスなどで、桜・つぶて石をめぐるって、パレス松風に泊まって、白鷹を満きつするツアー！（パレスでそば、お土産あり、春限定）

- ・参加料…15,000円弱
- ・売り込むターゲット…お年寄り
- ・宣伝方法…ポスター・ラジオ等



3 班のアイデア

鮎×ラ・フランスを組み合わせて

ラ・鮎

通称「ラーあゆ」

(マスコットキャラクター)

体 — ラ・フランス

顔 — 鮎

プロフィール

- ・最上川で泳いでいる
- ・えさはりんご（共食いをさけるため）
- ・年は3才



白鷹町にもゆるキャラ誕生？

4 班のアイデア

紅花×白鷹紬×深山和紙×鮎×鷹

荒砥高校×西中学校×東中学校を組み合わせて

合同文化祭

(イベント)

各学校の文化祭とは別に3校合同の文化祭。

企画として、白鷹紬と深山和紙で作った服を紅花染めで染めたものを着てファッションショーをする！

- ・入場料：無料
- ・販売品は有料
- ・場所：荒高+東中
- ・10月中旬に開催
- ・ポスター、町報で宣伝
- ・イメージキャラクターはアユタカとタカアユ



(画像はタカアユ)

他にも・・・

白鷹町の全部の祭りを合わせた白鷹祭りなどのイベント、「鮎のソテーりんごソースがけ」などの新商品が各班の中で話し合われました。

アイデアがなかなか出ずに苦戦する班もありましたが、それぞれが白鷹町の魅力について考えた「子ども会議」になったのではないのでしょうか。

講評をいただきました

●野村一芳副町長

白鷹町のすばらしいところを見つめ直して、もつと町に誇りを持つていただきたい。

白鷹町の資源を活用して町を元気にしていくとともに、白鷹町を外に売りこんでいかなければ他の地域と違ったまぢづくりをすることはできない。皆さんには、将来、まちづくりのリーダーとして、町が元気になるようにがんばっていただきたい。

●黒澤利朗商工会会長

これからは他の地域に誇れるものを生活の中で意識して、町民全体で町外に発信していくことが大切であると思う。

白鷹町の6次産業を活性化させていくと共に、町外に強烈にアピールして売り込んでいくことが、これからの白鷹町の進むべき方向の一つであると思う。住みよく誇れるまちづくり皆さんもぜひ参加していただきたいと思う。